

令和7年度

# 第1回 豊見城市地域公共交通協議会

## 【豊見城市地域公共交通計画】

- 
- 3-1. 豊見城市の交通施策の取組みについて  
(交通基本計画、総合交通戦略)
  - 3-2. 令和7年度の施策取組みについて
  - 3-3. 令和7年度年間スケジュール（案）について
- 

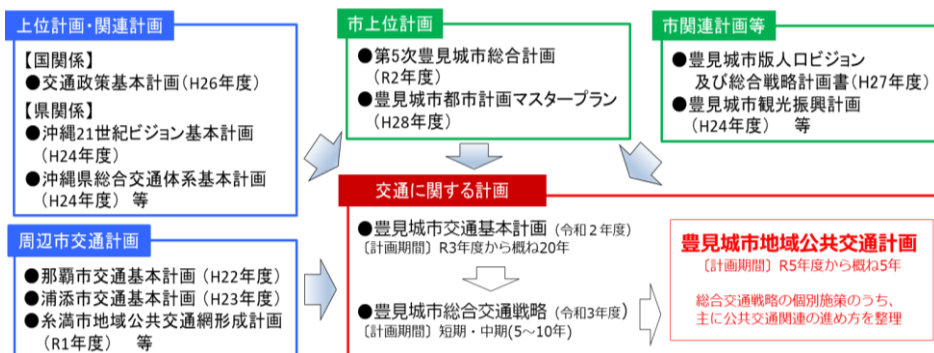
令和7年8月27日  
豊見城市 都市計画課

# 3-1. 豊見城市の交通施策の取り組みについて

## (1) 関連計画について

- 「地域公共交通計画」は、本市の交通に関する計画として、国・県・本市及び周辺市町の上位・関連計画と連携を図り、「総合交通戦略」に掲げる公共交通に関連した施策を推進
- 令和5年度から令和9年度を目標年次として、各施策を推進

### ①計画の位置づけ

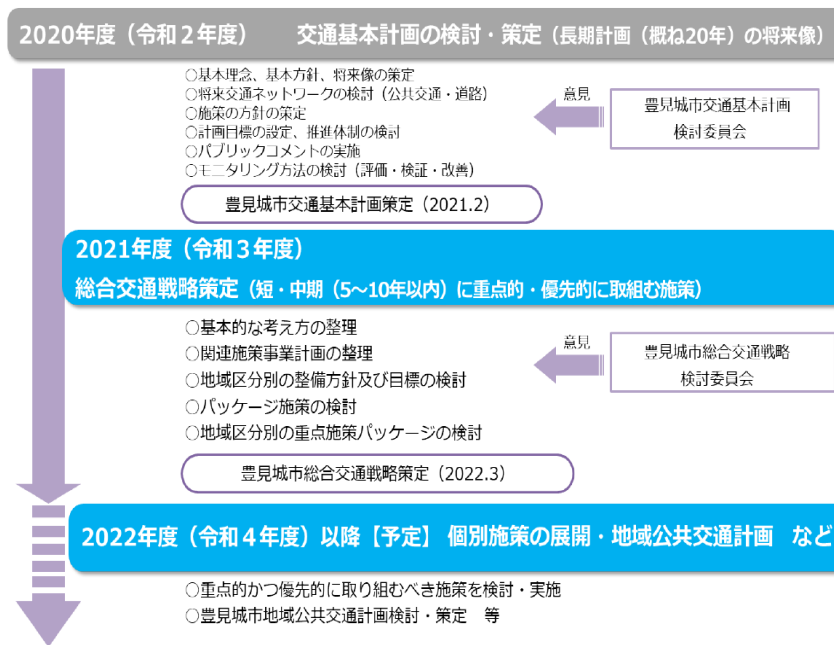


#### 【市関連計画】について

交通政策は、まちづくり、観光、交通弱者（学生、高齢者、福祉など）の施策目標と密接な関係あり。

- **豊見城市観光振興計画（令和6年5月策定）**  
⇒ ⑧環境にも配慮した交通インフラの充実（①公共交通機関の充実、②エコドライブの推進、③レンタサイクルの導入）
- **豊見城市高齢者保健福祉計画（第9期）（令和6年6月策定）**  
⇒ (3) ひとにやさしいまちづくりの推進（①高齢者の移動支援の充実）
- **豊見城市障害者計画及び第7期障害者福祉計画・第3期障害児福祉計画（令和6年6月策定）**  
⇒ 7-1-2利用しやすい公共交通機関の整備（①障害者に配慮した移動手段の検討）

### ②目標年次



■ **豊見城市地域公共交通計画**  
目標年次：2028年（令和9年）  
令和5年からの約5年間



## 3-1. 豊見城市の交通施策の取組みについて

### (3) 「豊見城市地域公共交通計画」の令和6年度の取組み

施策	個別施策	実施項目	実施内容
		先進事例及び 近隣自治体の情報収集	公共交通空白地域（不便地域）の移動手段保管する目的として、デマンド交通に関する県内外の先進事例を収集
総合交通戦略の個別施策推進支援			
路線バスの 利用環境の拡充	② 総合交通戦略 【No,5】	市内一周線（105番）乗降調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内一周線（105番）の利用実態を詳細に把握</li> <li>効率・効果的で、持続可能な運行に向けた運行ルートの検討</li> </ul>
多様なフィーダー 交通網の構築	④ 総合交通戦略 【No,7】	ラストワンマイル 交通需要調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート付タクシー割引クーポンにより、ラストワンマイル交通の需要を調査し、利用特性等を把握するとともに、課題について整理</li> </ul>
		シェアサイクル事業の実証実験	<ul style="list-style-type: none"> <li>シェアサイクル実証実験における利用者促進を図るため、サイクルポート拡大に向けて取り組みを支援</li> </ul>
モビリティマネジ メント（MM）、 交通需要マネジ メント（TDM）の推 進	⑦ 総合交通戦略 【No,17】	学校教育における モビリティマネジメント（MM）	<ul style="list-style-type: none"> <li>とよみ小、座安小（各4年生）を対象に公共交通の必要性（座学）、バスの乗り方教室（乗車体験）を実施</li> </ul>
		パーク&ライド駐車場を活用した 公共交通への転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>P&amp;R実証実験の実施に向けて、大型商業施設等へのヒアリングを実施し、実証に向けた可能性について整理</li> </ul>

# 3-2. 令和7年度の施策取組みについて

## (1) バス自動運転の実証実験

- 今年度の取組、検証内容、レベル4運行の達成時期：約3ヶ月の実証期間を設け、豊見城市内一周線（105番）の一部で2026年のレベル4運行開始に向けた走行データの蓄積と、有償運行に向けた道路運送法21条の許可取得に取り組む中で、自動運行率や満足度などを検証

### ■ 実施概要



運行ルート	豊見城市内一周線(105番) 距離: 約18km(一周)
運行ダイヤ	所要時間: 95分 4便/日 運行曜日: 毎日運行 ※年末年始(12月29日～1月3日(6日間))、NAHAマラソン(12月第一週の1日)は運休予定
運行期間* 1</td <td>R7年11月28日～R8年2月15日</td>	R7年11月28日～R8年2月15日
運行主体/交通事業者	株式会社琉球バス交通
インフラ連携	無

\*1: 関係者試乗運行と一般運行の合計(補助対象期間のみ) \*2: 自動運転時の最高速度

### ■ 車両概要

車両名	ティアフォー Minibus
車両メーカー	株式会社ティアフォー
自動運転システム開発事業者	株式会社ティアフォー
乗車定員	16名(自動運転時)
最高速度*2	35km/h
台数	1台



### ■ 将来ステップ

項目	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
レベル4運行*3	—	○	○	○	◎
台数	1台	1台	1台	1台	2台
運行ルート	豊見城市内一周線(105番)	豊見城市内一周線(105番)	豊見城市内一周線(105番)	豊見城市内一周線(105番)(+那覇方面)	豊見城市内一周線(105番)(+那覇方面)
運賃	有償	有償	有償	有償	有償
運転者	有	有	有	有	無
特定自動運行主任者	同乗	同乗	同乗	同乗	同乗
遠隔監視体制	1:1	1:1	1:1	1:1	1:2

■ 通年運行開始時期  
2026年10月開始予定

■ レベル4運行開始時期  
2026年開始予定

\*3: ◎: 1系統内の全区間でレベル4運行、○: 1系統内の一部区間でレベル4運行、—: レベル4以外の運行

### ■ 運行体制

ベンダー	株式会社ティアフォー
運行主体	株式会社琉球バス交通
運転手	車内/遠隔操作なし
保安員	有(1名)
遠隔監視	有(2名)

### ■ 運行形式

定路線(定期)

# 3-2. 令和7年度の施策取組みについて

## (2) 豊見城AIオンデマンド交通実証運行

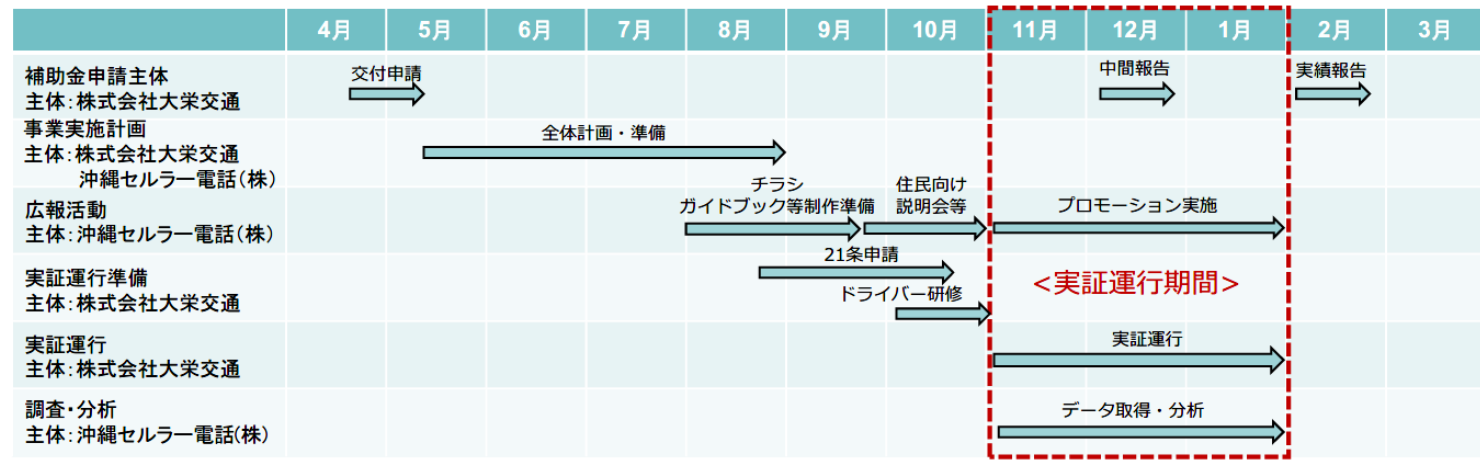
- 東部地域を含めた市内では、交通不便地域が存在しており、交通不便地域以外においてもバスの運行本数が少ないなど交通サービスの低下が課題となっている。交通不便地域の解消や公共交通サービスの維持などを目的として、東部地域において利用者ニーズや需要に合わせたAIオンデマンド交通の実証運行を実施

### 事業の基礎情報

事業実施地域	沖縄県豊見城市東部地域
「交通空白」リストに位置づけている地区名等	東部地域
事業の主体	株式会社大栄交通
新たに導入する交通サービス	AIオンデマンド交通

### 取組の概要 (事業実施手順・スケジュール)

本事業では、東部地域を含めた市内では、交通不便地域が存在しており、交通不便地域以外においてもバスの運行本数が少ないなど交通サービスの低下が課題となっている。交通不便地域の解消や公共交通サービスの維持などを目的として、東部地域において利用者ニーズや需要に合わせたAIオンデマンド交通を導入する。



# 3-2. 令和7年度の施策取組みについて

## (3) 学校教育におけるモビリティマネジメント (MM)

- 過度な自家用車移動から、公共交通を活用した移動手段への転換を推進するため、市内小学生（4年生）を対象としたバスの乗り方教室の実施を検討
- バス事業者と連携し座学（公共交通の必要性）やバス乗車体験（バス乗降車方法、車内マナー、車椅子乗車及び運転手体験）等を実施

■実施日時 : 令和●年●月●日 (●) ●時～●時  
 ■対象小学校 : ●●小学校、●●小学校 (4年次 : 各●クラス)



【座学】

- バスを利用することで、渋滞緩和やCO2削減等、環境や社会への影響を学ぶ



【乗車体験】

- バス事業者と連携し、バス乗車を体験
- バスの乗車時の整理券取得方法、Okicaタッチ等を体験
- 降車時の運賃確認や支払い方法を体験



- バス乗車時においては、バス車内でのマナーについて学ぶ
- その他、車椅子利用時の乗降体験や、バス運転席に着座し、バスの死角の確認等を体験



\* 写真 : 令和6年度のバス乗り方教室 (とよみ小学校)

■参考 : 交通に関する情報 (下敷き)

- 「バスの乗り方教室」の対象となるクラスへ下敷きを提供を予定
- 下敷きは沖縄県交通政策課より提供



\* アンケート調査の実施を予定

- バスの乗り方教室の前後において、公共交通に関するアンケート調査を実施し、過度な自家用車利用や公共交通への意識変化を把握

# 3-2. 令和7年度の施策取組みについて

## (4) 交通需要マネジメント (TDM)

- ・ 渋滞緩和に向けた施策のひとつとなる「パーク&ライド」の実施に向けた検討を実施
- ・ 市内大型商業施設、公共用地等での実施の可能性や、管理・運営体制について検討を実施

### ①実施概要

豊見城市には那覇市方面と結ぶバス路線が走るが、中でも市西部の県道 256 号には多くのバスが那覇市方面へと走っている。それらのバスは豊崎方面に立地するアウトレットモールあしびなーや MEGA ドン・キホーテなどの商業施設と結節しているため施設の駐車場を利用し、那覇市方面への移動を県道 256 号を走るバス路線へと乗り換えることで、那覇市内へ流入する自家用車の削減、ひいては那覇市内の渋滞緩和を目指す。

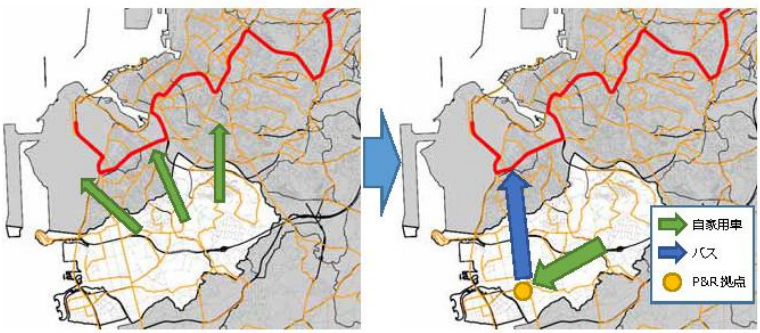


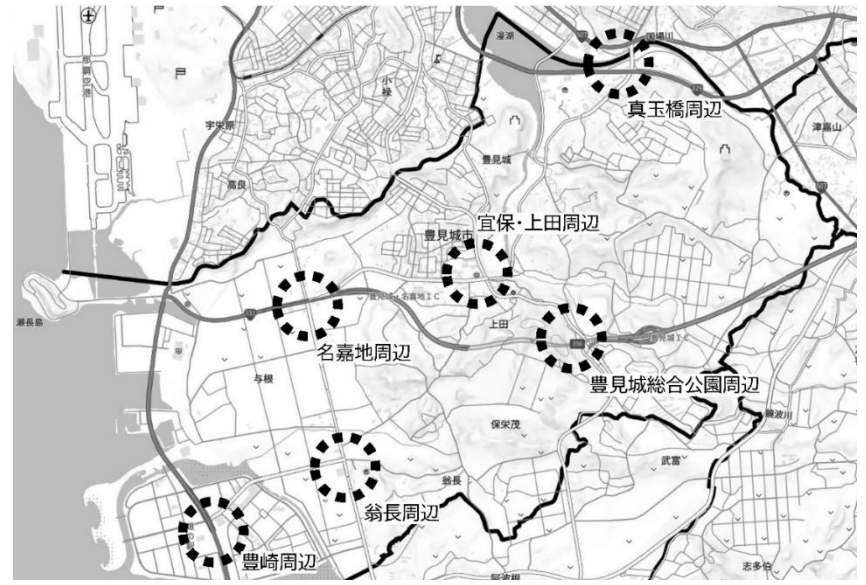
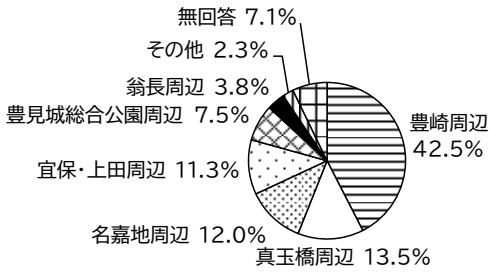
図 P&R 実施前後の流動変化イメージ(左:実施前、右:実施後)

### ②候補地 (案)

- ・ アウトレットモールあしびなー
- ・ イーアス沖縄豊崎
- ・ TOMITON (とみとん)
- ・ MEGA ドン・キホーテ豊見城店
- ・ 公共用地 (高架橋下等)

### ③パーク&ライド希望位置 (R5アンケート調査結果)

P&R希望位置		n=266	
項目	人数	比率	
豊崎周辺	113	42.5%	
真玉橋周辺	36	13.5%	
名嘉地周辺	32	12.0%	
宜保・上田周辺	30	11.3%	
豊見城総合公園周辺	20	7.5%	
翁長周辺	10	3.8%	
その他	6	2.3%	
無回答	19	7.1%	
計	266	100.0%	



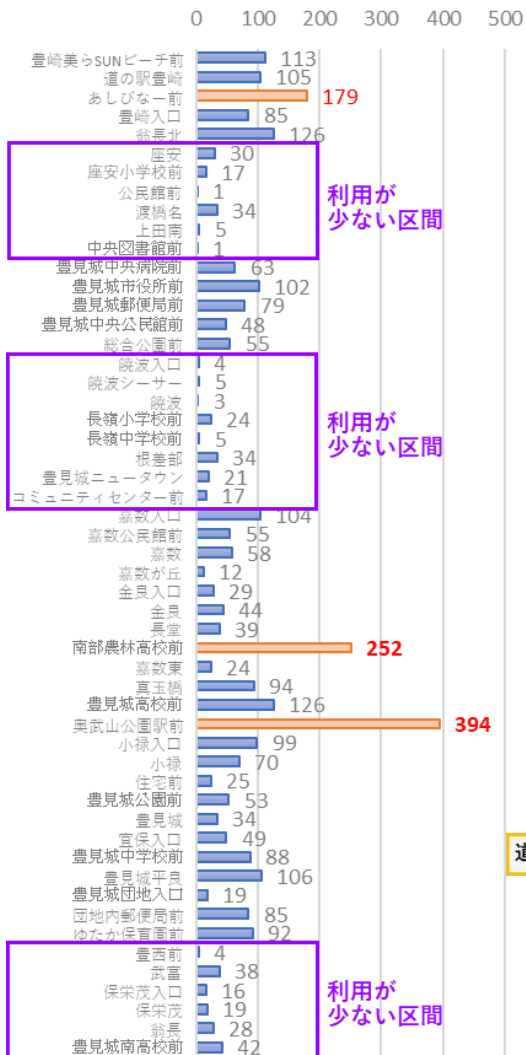


# 3-2. 令和7年度の施策取組みについて

## (5) 路線バスの利用環境の拡充の推進 (参考：R6分析結果)

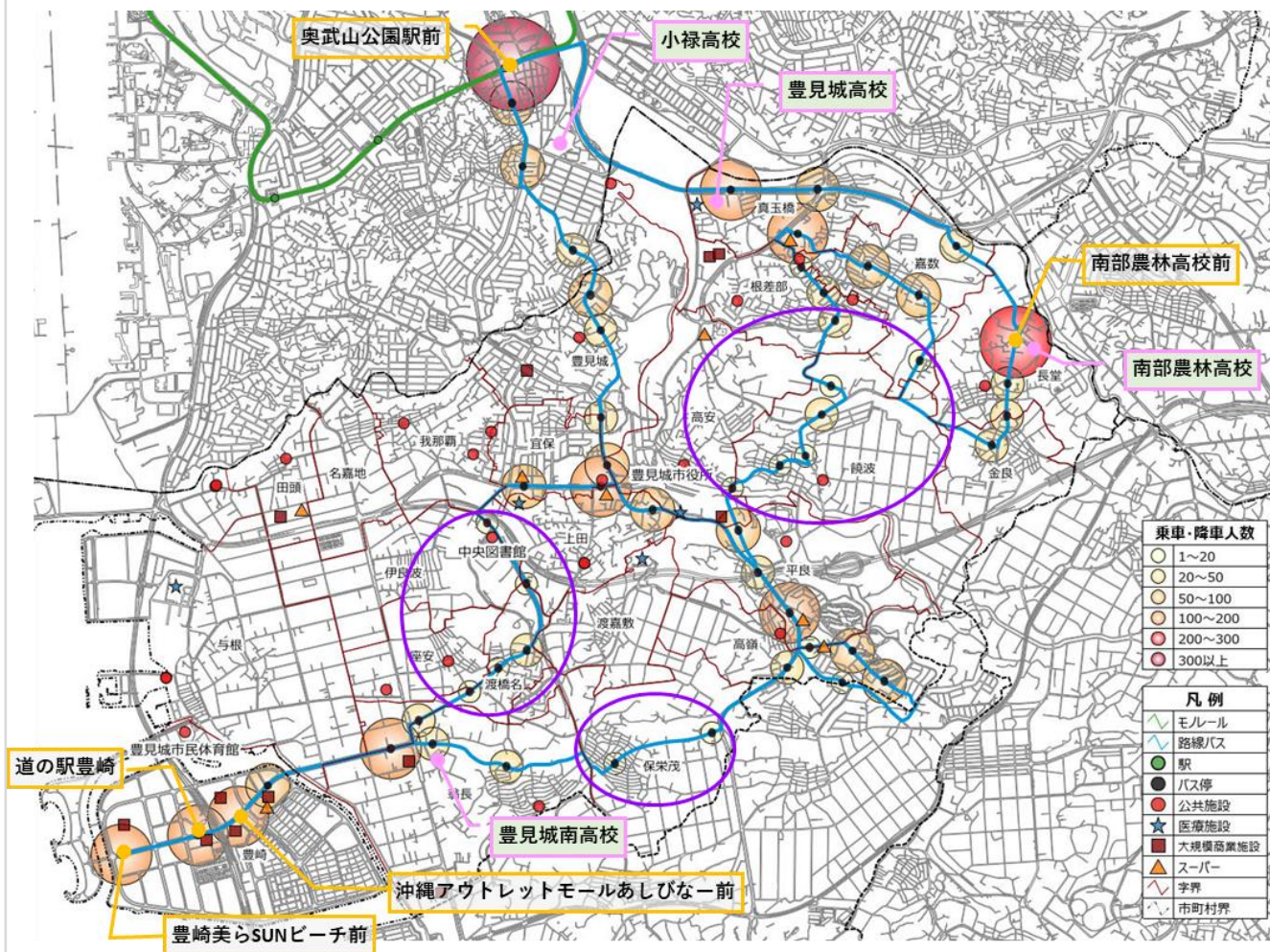
- バス停毎の利用者数をみると、奥武山公園前、南部農林高校前及び沖縄アウトレットモールあしびなーの利用者が顕著。(通勤・通学時の利用をはじめ、観光客等の利用が想定される)

### 1) バス停別乗降者数



\* 奥武山公園前駅から那覇市方面への乗換、高校や大型側商業施設周辺に利用が多い

\* 渡橋名、饒波、保栄茂等の一部区間では利用者が少ない



## 3-2. 令和7年度の施策取組みについて

### (5) 路線バスの利用環境の拡充の推進（参考：R6分析結果）

- 市内一周線（105番）での移動特性では、利用者の約64%が内々移動（市内⇄市内）、約36%が内外移動（市内⇄那覇市）で利用。
- 地域区分の繋がりでは東部と中央、東部と西海岸地区の繋がりが高く、市内一周線（105番）での地域移動の利便性は高いと考えられる。

#### 2) 移動特性

##### ①市内々・内外移動

- 市内々のみならず、内外移動での利用も高い
- 平・土・日の内々、内外移動の割合は概ね同等

	平日		土曜		日曜		全体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
内々移動	1,042	63.9%	62	60.8%	76	62.3%	1,180	63.6%
内外移動	588	36.1%	40	39.2%	46	37.7%	674	36.4%
合計	1630		102		122		1,854	

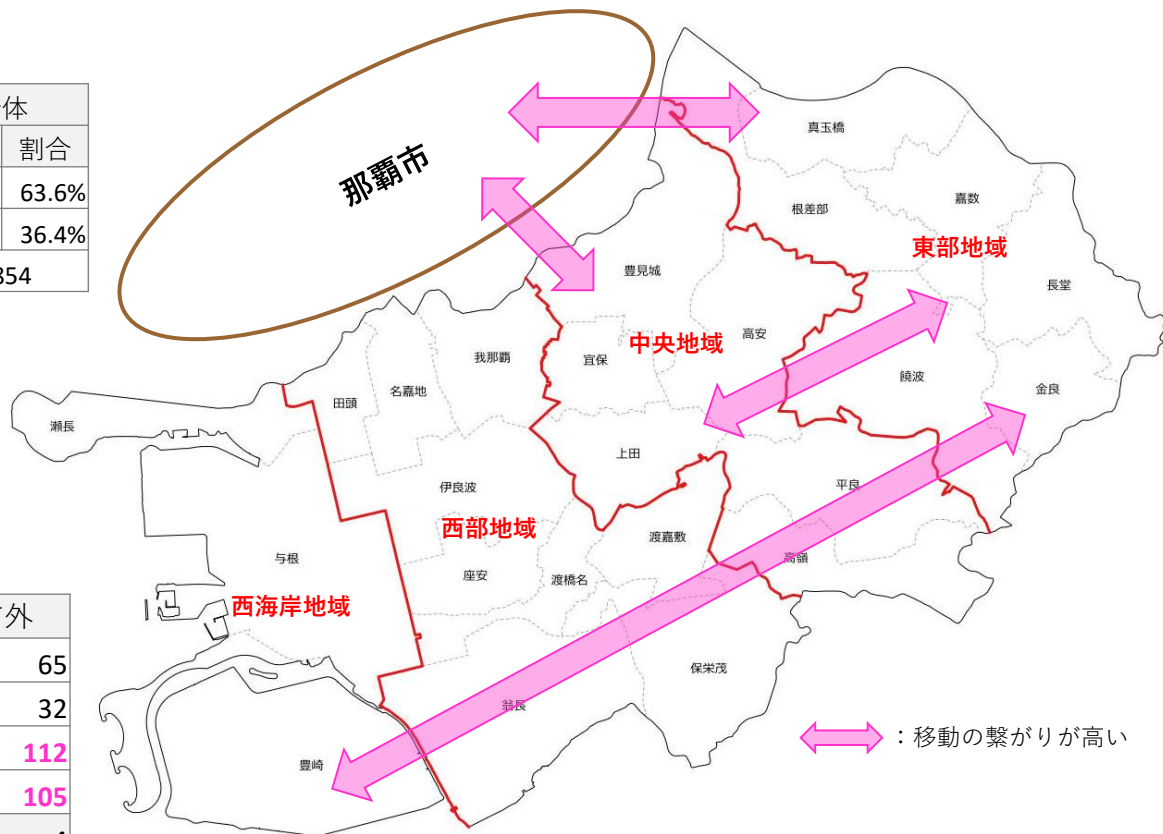
##### ②区域内々・内外移動

- 那覇市との繋がりでは東部および中央地区が他の地区に比べ高い。
- 中央及び東部地区では、他の地区に比べ区内々移動での利用が多い。
- 西部地区の利用者は他の地区に比べ少ない。

地域区分	西海岸	西部	中央	東部	市外
西海岸	2	27	87	112	65
西部	30	7	59	38	32
中央	75	50	95	132	112
東部	161	51	181	69	105
市外	47	26	152	127	4

#### ■地域区分図

\* 自然及び地理的条件を加味しつつ、将来都市構造上の拠点の位置づけ、今後の都市づくりの方向性、土地利用のまとまり等を考慮し設定



### 3-2. 令和7年度の施策取組みについて

#### (6) シェアサイクル事業の実証実験

- 市内回遊、観光施設の連携及び公共交通施設へのアクセス向上を図り、過度な自家用車利用からその他の移動手段への転換を図るため、シェアサイクルポートの拡充を目的とした連携協定を令和6年4月23日株式会社ドコモ・バイクシェアと締結
- 令和6年度に引き続き、市内及び周辺地域の公共施設や商業施設等へのシェアサイクルポートの拡充を図る

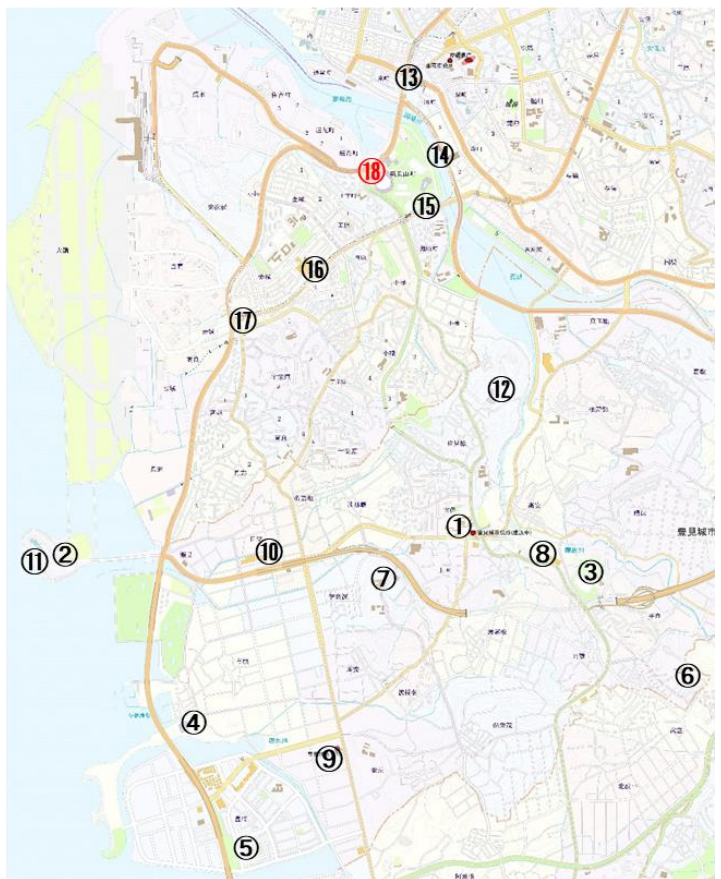


図 設置箇所及び設置予定箇所

	箇所名	駐輪可能台数	占有面積
設置箇所	① 豊見城市役所		
	② 瀬長島サンセットパーク第一駐車場		
	③ 豊見城総合公園		
	④ 豊見城市民体育館		
	⑤ 豊崎にじ公園		
	⑥ 豊見城団地市改良住宅（集会所）		
	⑦ 豊見城市立中央図書館		
	⑧ 豊見城郵便局		
	⑨ ドンキホーテ豊見城店		
	⑩ イオン琉球		
	⑪ 瀬長島ホテル		
	⑫ 沖縄空手会館		
	⑬ 沖縄都市モノレール：旭橋駅①	4台	5.4㎡
	⑬ 沖縄都市モノレール：旭橋駅②	7台	8.5㎡
	⑬ 沖縄都市モノレール：旭橋駅③	4台	5.4㎡
	⑭ 沖縄都市モノレール：壺川駅	5台	6.3㎡
	⑮ 沖縄都市モノレール：奥武山駅	5台	6.3㎡
⑯ 沖縄都市モノレール：小禄駅	4台	5.4㎡	
⑰ 沖縄都市モノレール：赤嶺駅	9台	11.7㎡	
新設	⑱ (仮) 沖縄県立武道館	5台	6.3㎡

# 3-3. 令和7年度年間スケジュール（案）について

## ■ 総合交通戦略の個別施策推進支援

	令和7年						令和8年		
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① 新しい公共交通システムの導入	Zippar ルート検討、需要及びコスト費用の試算								
② バス自動運転の実証実験	関係者調整				実証実験の実施 R7.11月28日～R8.2月15日				
③ 豊見城AIオンデマンド交通実証運行	計画・準備		申請・住民説明・周知 等			実証実験の実施：R7.10～R8.01 データ収集・分析			
④ 学校教育におけるモビリティマネジメント（MM）	関係者調整				バス乗り方教室実施				
⑤ 交通需要マネジメント（TDM）	関係者調整		実施に向けた各種検討						
⑥ 路線バスの利用環境の拡充の推進	ネットワーク形成に向けた検討・関係者調整								
	調査手法の検討・実施・集計・とりまとめ								
⑦ シェアサイクル事業の実証実験	関係者調整		サイクルポートの拡充						
⑧ 豊見城市地域公共交通会議	↓		8月27日（水） ・ R6決算報告 ・ 地域公共交通計画について ・ 今年度の取組みについて ・ 今年度のスケジュールについて				↓ 1月末～2月中旬 ・ 実施項目の結果報告 ・ 次年度の展開について		